

**再評価【番号13】**

**海岸侵食対策事業  
今津坂野海岸**

# 1. 海岸の概要

小松島市和田島町～阿南市那賀川町

海岸線延長  $L=6,637\text{m}$   
(坂野地区 $3,320\text{m}$ 、今津地区 $3,317\text{m}$ )

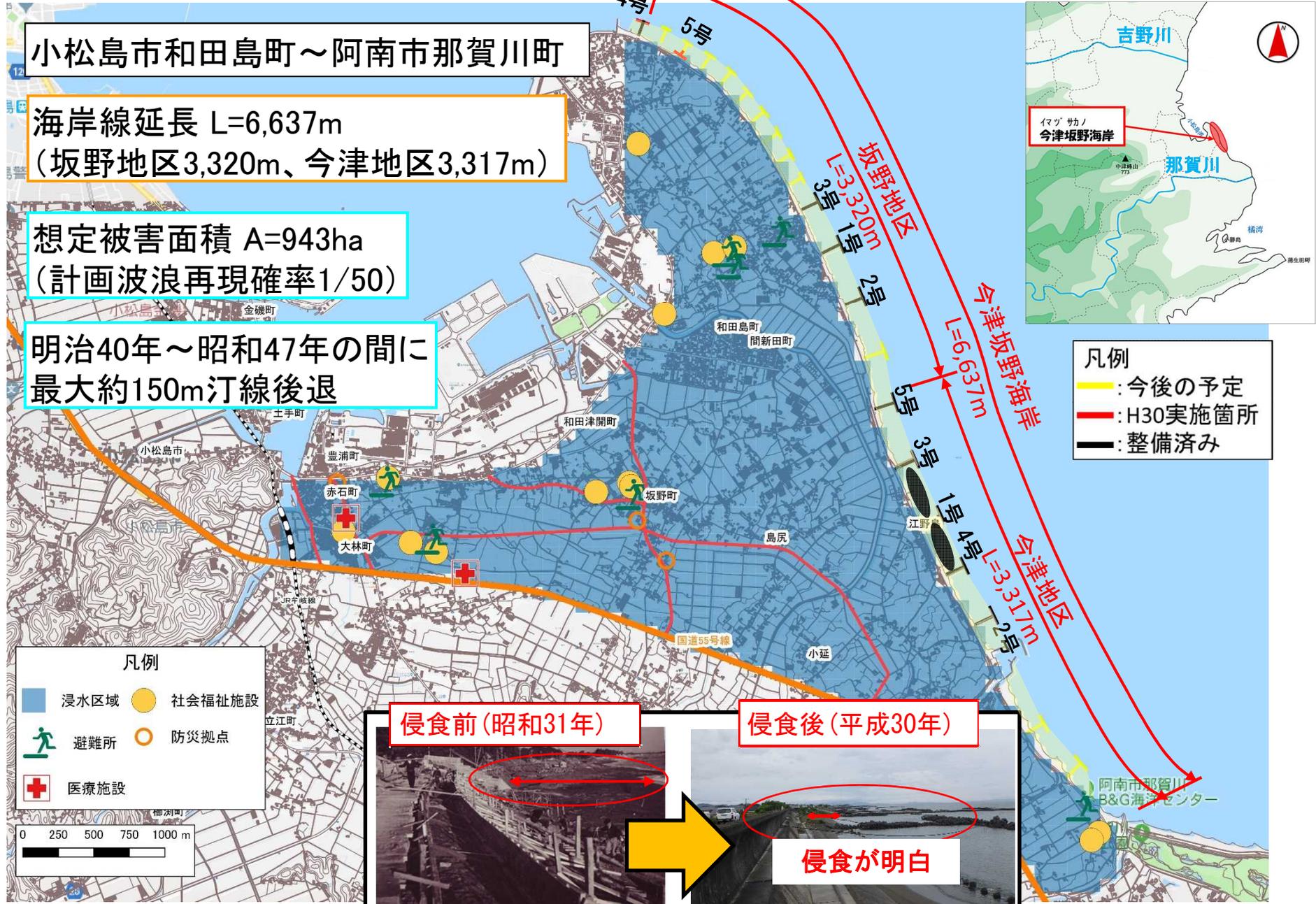
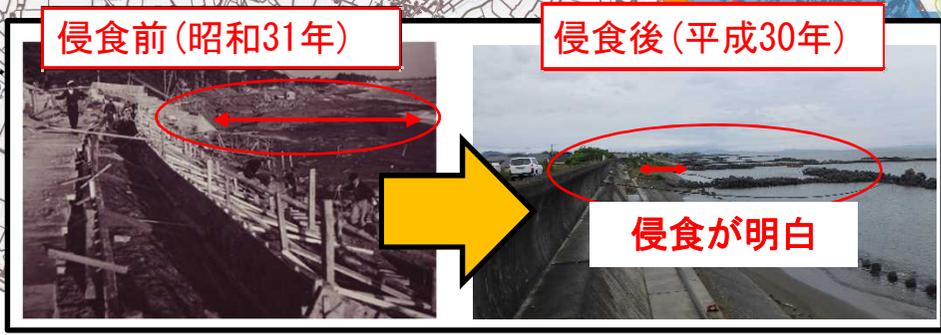
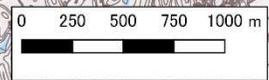
想定被害面積  $A=943\text{ha}$   
(計画波浪再現確率 $1/50$ )

明治40年～昭和47年の間に  
最大約 $150\text{m}$ 汀線後退



凡例  
— : 今後の予定  
— : H30実施箇所  
— : 整備済み

凡例  
■ 浸水区域    ● 社会福祉施設  
🚶 避難所    ○ 防災拠点  
+ 医療施設



## 2. 事業概要

小松島市和田島町～阿南市那賀川町

### 全体計画（昭和36年～）

堤防工	6,464m	完成
離岸堤	325m	完成
消波堤	759m	完成
小規模突堤	1,876m	完成
大規模突堤	21基	整備中
緩傾斜護岸	2,400m	整備中
養浜	375,000m <sup>3</sup>	整備中

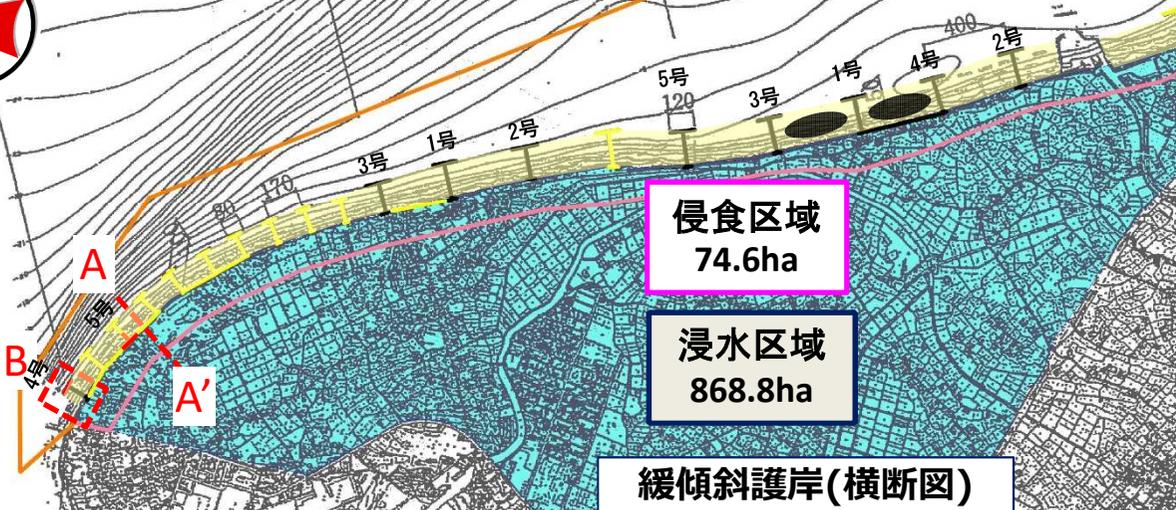
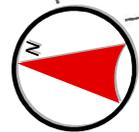
大規模突堤



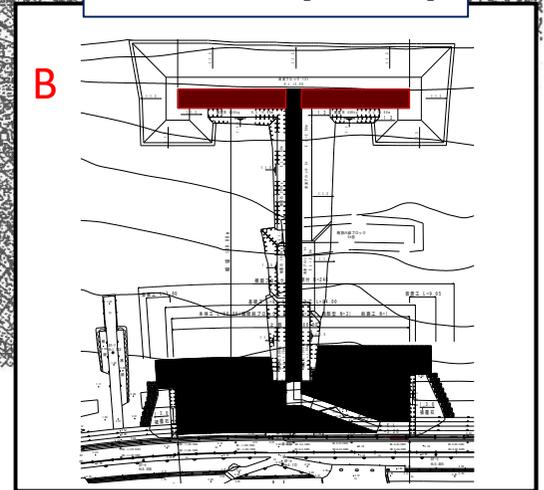
緩傾斜護岸



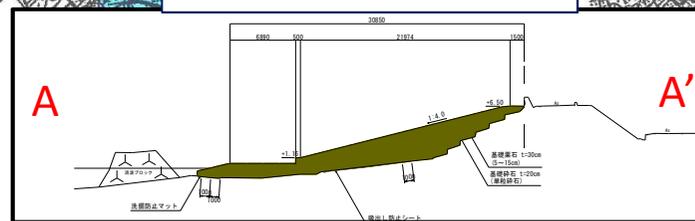
海岸保全区域



大規模突堤(平面図)



緩傾斜護岸(横断図)



平成29年度以前	
平成30年度	
平成31年度以降	

### 3. 事業の進捗状況

#### ①高潮・波浪時の状況

平常時



高潮・波浪時



#### ②坂野4号突堤整備中

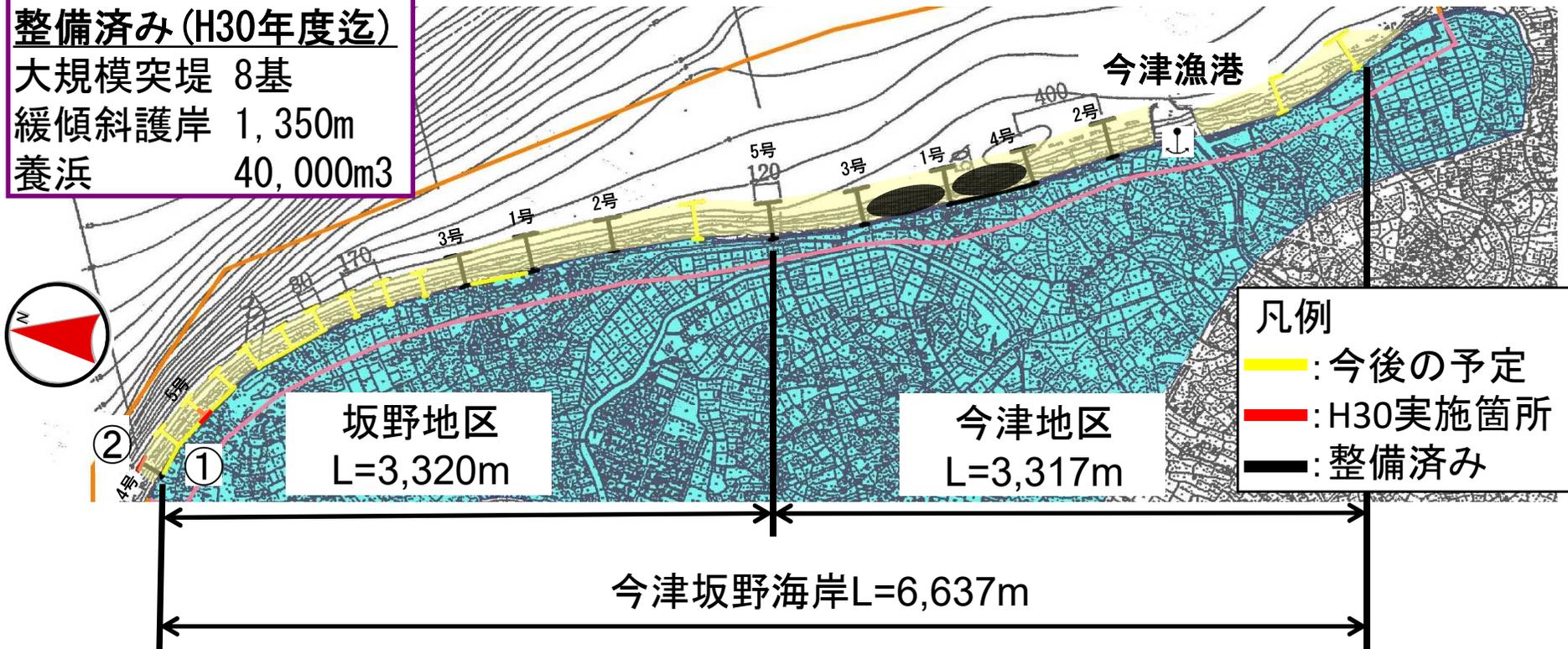


#### 整備済み (H30年度迄)

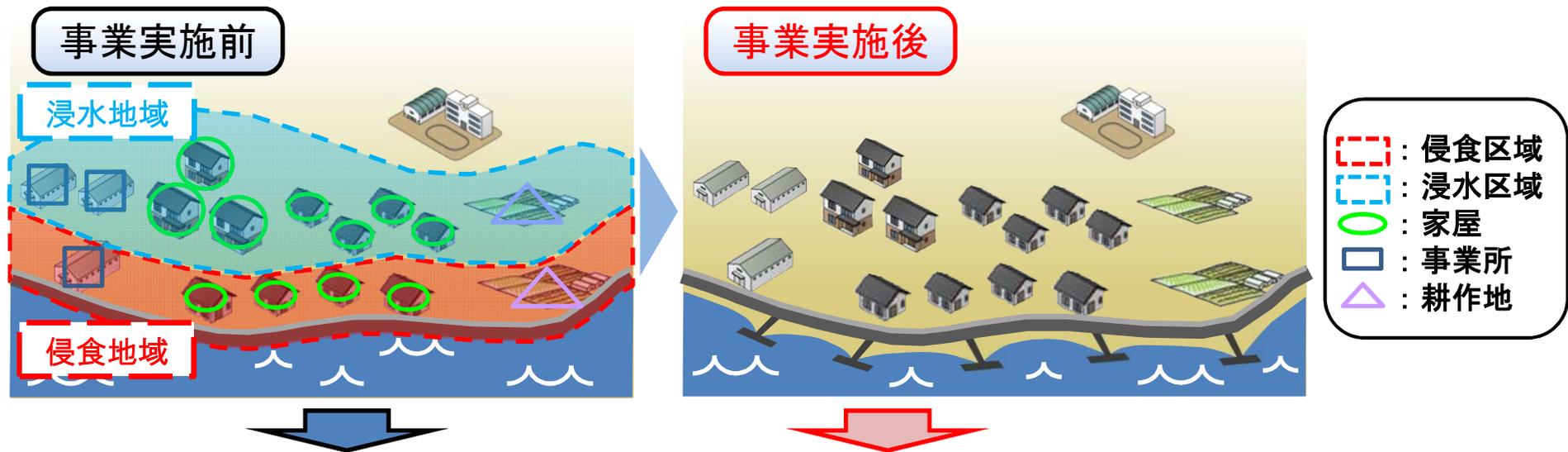
大規模突堤 8基

緩傾斜護岸 1,350m

養浜 40,000m<sup>3</sup>



## 4. 海岸事業の費用便益計算について



事業実施前の被害額  $-$  事業実施後の被害額  $=$  被害軽減額（便益）

便益(B)に計上されている項目		
	侵食地域	浸水地域
土地の消失	○	
家屋・事業所被害	○	○
農作物被害	○	○
公共土木施設被害	○	○
公益事業等被害額	○	○

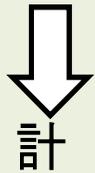
費用(C)に計上されている項目
建設費
維持管理費(整備後50年まで)

## 5. 整備効果

### 貨幣換算可能な整備効果

#### 【海岸事業の費用便益分析指針によるB/C】

- ・ 土地の消失
- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 公益事業等被害 など



計

被害軽減期待額

= 便益 B

5,061.90億円

(現在価値化後)

費用 C = 402.75億円

(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 12.6$$

経済被害の域内・外への  
波及被害

水害1回当たり

22億円の被害を軽減

水害廃棄物の処分

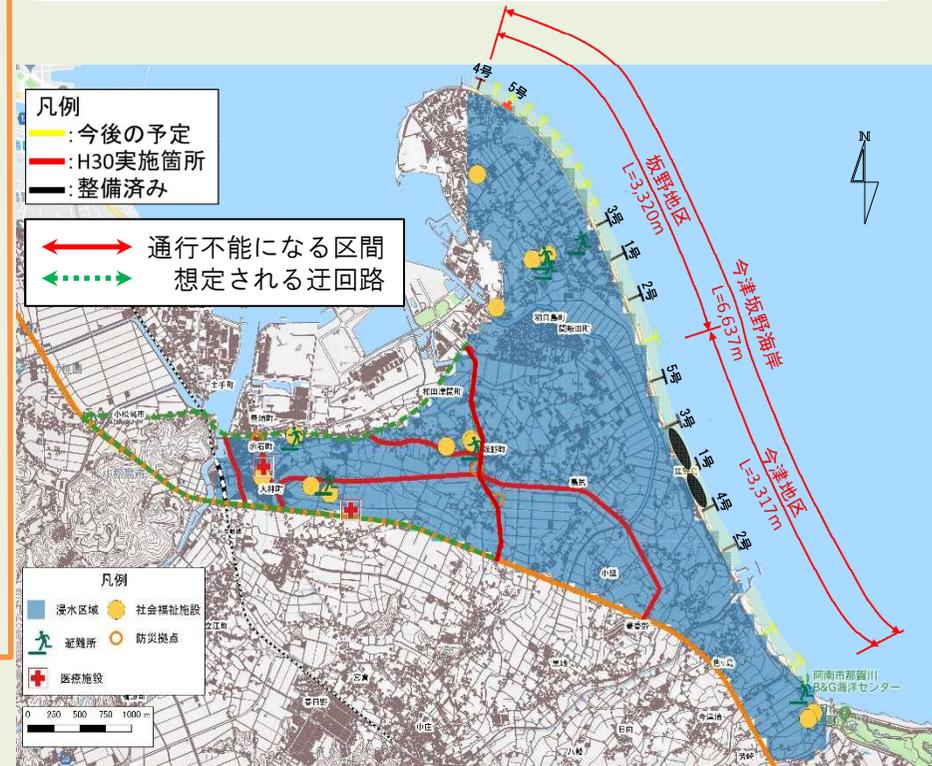
水害1回当たり

422百万円の被害を軽減

#### 【「水害の被害指標分析の手引き」による効果】

#### 交通途絶による被害

水害1回当たり5百万円の被害を軽減



水害1回当たり被害額  
= 26.7億円

## 6. 多様な効果

### 貨幣価値に表れない整備効果

#### 人的被害の軽減

浸水区域内人口	7,154人
浸水区域内の災害時要援護者数	2,166人
最大孤立者数	5,238人

#### 医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

機能低下する医療施設数	2 病院
機能低下する社会福祉施設数	13施設

#### 防災拠点施設の機能低下による被害軽減

機能低下する主要な防災拠点施設	2施設
→災害発生時の機能維持	

#### ライフライン停止による波及被害の軽減

電力の停止による影響人口	5,963人
ガス停止による影響人口	4,782人
上水道停止による影響人口	672人
通信(固定)の停止による影響人口	6,074人

→住民生活環境の維持



江藤病院



小松島市役所坂野出張所



坂野保育所

